

第 1 1 回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

- 1 日 時 平成 2 2 年 1 1 月 5 日 (金) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 2 2
- 2 場 所 田原市役所北庁舎講堂
- 3 出席者 ○委員 1 9 名 山本和子 (会長)、中村都祁子 (副会長)、大羽通之、山本達夫、中西秀一、森下静子、荒木英夫、鈴木信、大久保哲夫、小久保恭子、櫻井貫二、太田由紀夫、大羽チズエ、河合美恵子、杉浦拡、加子幸子、永田みよ江、平野利依、渡会里美
(欠席 6 名 : 鈴木佳余子、田中敢、杉山礼子、渡辺清子、山本明子、朝倉登喜子)
○事務局 3 名 渡邊市民協働課長、鈴木副主幹、広中主任
- 4 会議録署名委員 太田由紀夫、大羽チズエ
- 5 議題
 - (1) 各委員の取組状況報告
 - (2) 市の取組状況報告
 - (3) 平成 2 2 年度懇話会実践事業について
 - ア 男女共同参画フェスティバル&あいち国際女性映画祭について
 - (ア) 実施結果について
 - (イ) 次年度に向けて
 - イ 具体的取組について
 - (ア) 普及啓発事業について
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 6 議事要旨

●議長 山本会長

●委員異動の紹介 … 事務局報告

・旧委員) 伊藤 立 → 新委員) 鈴木 信 ※田原市認定農業者連絡会

(1) 報告

①各委員の取組状況について … 各委員報告 (資料 1)

≪報告内容・関連意見≫

- 日々あらゆる場面、所属している組織の中で、男女共同参画の視点を大切にしながら活動していきたい。実行することが大切だという思いでやっている。
- 田原市人材養成活動支援制度を利用し、名古屋で開催された若尾典子さんのリプロダクティブ・ヘルスの講座へ参加した。
- 毎月、ウィットインテリジェンスサイエンスカフェをやっており、1 1 月 1 1 日にはオープンセミナーとして、若尾さんの講座を受けての振り返りの研修会を開催する。
- 1 1 月 2 8 日に中山市民館で性の健康教育講座を行う。大人のための講座を受講後、親子で学ぶ性の健康教室を行う。
- 1 2 月 4 日に市長懇談会を開催。活動から浮かび上がる市民ニーズ、行政と協働でできること探り、そこへは男女共同参画の視点が入れられるよう提案していきたいと思う。
- 毎年、福江中学校のドリームの会で、夏休み 8 コマ、リーダー研修会を行っている。男女共同参画推進に向けての重要な価値観が含まれる学びとなったと思う。

- 愛知県男女共同参画人材セミナーに参加。共同研究ということで、他市町から参加している6人でテーマを決め、最後に研究発表をする。私たちのグループのテーマは「女性と介護」で、資料の収集、原稿の下書き中である。行政と一緒に取り組めるものがないか探しながら、現在研究し、提言ができたらいいなという内容でレポートを作成している。
- 金銭教育やライフプランを作りましょうという活動をしている。今年は、田原市内の中学生や消費者の方、縁があり岐阜市の消費者生活センターのほうでセミナーを行った。男女共同参画というところを取り入れながら行っている。
- 地域自治会の女性役員ということを考え、少し動いてみた。副区長制を設け女性を登用できないかと、総代会役員に話をしたが、全くの平行線で、議論は土俵に上がれず、女性役員登用の私の考えは固い岩盤の前にたつ、ただの題目となってしまった。
- 地区の総会や組長会などは、男任せにせず、まずは女性がどんどん出てくれば良いと言われ、確かにその通りだと思うと同時に納得もできず、引き下がってきた。
- 自治会の女性参加が進まない理由は男性、女性双方にあることがわかった。
- 生活の一番身近にいる女性の視点が地域役員の傘下で生かされるのはいうまでもないことであり、社会経験豊富な男性との共同でより良い地域づくりが可能だと考えている。
- 多文化交流の会として、日本語教室、中国語教室、交流教室を開催している。
- 月刊あかばねひらがな新聞は50号まで発行。
- 上野千鶴子氏講演会に参加した。
- 全国家庭科教育協会から原稿依頼があり、機関誌「家庭科」へ活動の様子を掲載した。
- 行政相談委員の男女共同参画担当委員として、男女共同参画全国会議に参加と9月19日から21日まで開催された、APECの女性会議(WLN)に参加。
- 行政相談委員として、外国人のための出前講座や暮らしと行政よろず相談、女性の悩み事相談などで相談業務を行っている。

②市の取組状況報告 …… 杉浦委員説明（資料2）

- ・市民協働課の実施（予定）事業の状況
- ・各課における関連施策の取組状況

（2）検討事項

①平成22年度懇話会実践事業について

●平成22年度重点推進テーマ 『男女を隔てる意識の解消』

ア 男女共同参画フェスティバル&あいち国際女性映画祭について

（ア）実施結果について…フェスティバル運営部会長・杉浦委員説明（資料3、資料4）

- ・第3回男女共同参画フェスティバルの状況
- ・あいち国際女性映画祭の状況

（イ）次年度に向けて

≪事務局説明内容≫

- ・来年度、あいち国際女性映画祭は実施しない。一度、有効性や妥当性、実際の内容についても実施評価していただき、男女共同参画フェスティバルの来年度の開催の方向性についてご意見をいただきたい。

意見>いろいろな風が入りながらやった方がいいと思うが、路線に沿って開催することも重要である。ここまできたのだから続けること大事だと思う。
アンケートでも続けてほしいという意見多く、寄せ植えや手芸などを出展する方は来年のために、もう準備をしている。
実行委員会や懇話会が連携し、ネットワークを密にしながら勉強会などを開催することで、男女共同参画の意識も少しずつ高まっていくと思う。

- 意見>映画祭について、止めるということは日程の変更もできるということか。
- 回答>そういうことです。時期も映画の内容も決めること可能になったということです。
- 意見>日程が変更できるのは大変いいと思う。しかし、映画を開くとなると大変だと思うが費用的には単独で田原市が頼むことはできるのか。
- 回答>大丈夫だと思う。スタッフを入れて40万円位あればできると思う。有料、無料で経費が変わる。無料の形にすれば逆に費用が安くなってくる。
あいち国際女性映画祭で負担していた、ゲストスピーチの段取りは別途必要になる。映画監督や映画関係者を何らかの形で招聘するようなことをやってみたいと思っている。
- 意見>フェスティバルと映画祭はセットなのか。
- 回答>セットではない。
- 意見>セットでないなら、映画にこだわらず人を集めるのであれば、文協に頼んで芸能祭をやるという発想も面白いのではないか。
- 意見>小さなシンポジウムで農協の取組、トヨタの取組、行政の取組、自分の家庭の取組などのお話を私は聞いてみたい。
- 回答>いくつかのイベントを重ねると、皆さんの関心が高まるが、本筋の男女で固まったときに集客があまりないと、逆に怖いと思う。
- 意見>今日、突然あいち国際女性映画祭は断りましたと言われ、今日のうちに何にするか決めるのは難しい。ある程度の予算は確保してもらっておいて、その範囲でできるものは何か模索していくしかないと思う。すぐには答え出せない。
- 回答>予算要求の段階ではあいち国際女性映画祭に代わるものを想定して予算を確保していく。
- 意見>懇話会は懇話会として、いかに男女共同参画を行政も団体も係るか、もう少し本腰を入れて考えていくべきかと思う。
運営が上手くいったものは、運営委員会を作ってお任せしていった方が、もっと発展する可能性が高いと思うし、懇話会の負担を減らすという意味でも一つの手段だと思う。
- 意見>出展する人たちの中から、運営委員会のメンバーを募ってもいいかと思う。もっと広げて、もう少し皆さんでやるという形ができると思う。
- 意見>実施体制は、たくさんの方に入ってもらうことも大事だと思うが、舵取りをしっかりとしないとぶれていってしまうとまずいと思う。

《決定内容》

- ・来年度も男女共同参画フェスティバルを実施する。
- ・開催時期は、8月28日（日）が第一候補、10月2日（日）が第二候補。
- ・開催内容は、次回の懇話会にて検討する。
- ・今年度の体制にプラスして、もう少し市民団体、各団体と一緒にやっていく方向で、運営部会、実行委員会といったものを明確に出していく。

イ 具体的な取組について

(ア) 普及啓発事業について

《事務局説明内容》

- ・啓発用としてクリアファイルを作成した。
- ・重点推進テーマのチラシ等をセットにして、男女共同参画啓発用として配布していきたい。イベント開催時に配布していただけるよう、啓発にご協力をお願いしたい。

(3) 意見交換

意見>各委員の取組状況で自治会の役員の女性登用について、実際どうなのか。

回答>やってくればありがたい。旦那さんが亡くなっている場合は出てくる。出てきて、いろいろと同じようにやってくれる。差別の意識もない。しかし、旦那さんや息子さんがいれば、男が出てきてしまう。

意見>校区総代会にそういった提案をだすというのはどうか。

回答>出てくれればいいと思う。農業委員の女性3名にしたいというときは、人がいなくて往生した。

意見>私たちの集落では、二組で1人、自治会役員を順番で出している。自然と男ばかりになってしまう。それも年齢が50代から60代前半の人を順番に下に下がっていく。

質問>女の人だけの家族はどうしているのか。

回答>抜かしている。

意見>学校のPTAにしても常任委員は男性ばかり。比較的女性がそういう場に出るのは、一つの組だけでは難しいと思う。それなりに根回しするところがたくさんになってしまう。

意見>こういう意見が出れば、総代会に参考として出すことはいいと思う。

意見>総代会にそういった意見出してもらうことも大事なことだと思う。

回答>2ヶ月に1回定例会がある。その場で、こういう意見があったということを発表することは大事なこと。そうしていきましょう。

(5) その他

- ・第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(答申)の紹介。
- ・次回は3月の開催を予定。

意見>次が3月となると、問題提起された内容を忘れてしまう。この会はもう少し回数を増やすことはできないのか。

回答>事務局で決めているものではない、回数は年度当初に3回開催と承認いただいたが、皆さんご相談して決定していただきたい。

◀決定内容▶

- ・12月14日(火)午後2時から懇話会勉強会を開催する。

5 資料 第11回田原市男女共同参画推進懇話会委員出席者名簿・配席表

【資料1】各委員の取組状況報告(委員連絡票)

【資料2】市の男女共同参画関連事業の実施概要

【資料3】男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭実施結果

【資料4】男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭実施結果(各委員による意見等)

【参考】第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(答申)について